

2023年度の出題傾向と分析

英語

解答形式 ▶ 記述 / マーク

問題の全体難易度 ★★☆☆ 標準

前年との難易度比較 変化なし

時間に対する分量 多い

大問	分野	長文の種類 単語数	内容	出題形式	難易度
1	読解	人文・科学系 約800語	「ユーモアのセンスが心の健康に及ぼす影響」についての長文問題(内容一致・同意語選択・主題選択・英文和訳・自由英作文)	選択・記述	★★☆☆
2	読解	—	「レインガーデンの作り方とそうすべき理由」「森林が複数の点で地球温暖化を軽減する」「楽しい実験室は多様化を促進させるか」についての長文問題(文補充)	選択	★★☆☆
3	読解	社会系 約550語	「様々な観点からみた近親者の近所に住む米国人の割合」についての長文問題(空所補充)	選択	★★☆☆
4	会話文	約550語	「グラフの読み取り方」についての対話文(内容一致・同意表現選択・空所補充)	選択	★★☆☆

大問4題で読解と対話文という構成は例年通り。大問3が易しく、他は標準レベル。しかし60分で2,000語超の英文を読まなくてはならないため速読力が要求される。さらに大問3・4では6つのグラフの読み取りがあるため、

情報分析力も必要となる。対策としては、共通テスト対策問題集から始めるとよい。実力がついてきたら本学の過去問で英文のレベルに慣れ、時間内に解答できるように工夫する。特に大問2の文補充は練習が必須と言える。

数学

解答形式 ▶ 記述

問題の全体難易度 ★★☆☆ 標準

前年との難易度比較 変化なし

時間に対する分量 適量

小問	分野	内容	出題形式	難易度	
1	指数関数・対数関数	Ⅱ	指数方程式、式の値	記述	★★☆☆
	確率	A	同じ文字を含む円順列に関する確率	記述	★★☆☆
2	数列	B	複利計算	記述	★★☆☆
3	図形と計量、三角関数	I・Ⅱ	三角比による辺の長さとその差	記述	★★☆☆
4	微分法の応用、積分法の応用	Ⅲ	減衰曲線	記述	★★☆☆

23年度は大問3の②③の難度が非常に高かった。例年はここまで高難度の出題はないものの、60分で記述式で4題出題されるため、じっくり考える時間はない。典型問題は瞬時に解法が浮かぶようにしておくことが重要。23年度は出題がなかったが、19年度から22年度まで4年連続で極限が出題されていたので、対策はしっかりしておきた

い。「場合の数・確率」と「整数」の出題頻度が高く、工夫が必要な定積分の計算も出題されているので、これらの分野に関しては、ハイレベルな演習にも取り組んでおくべきだろう。加えて、数学Ⅲからの出題が半数を超える年もあるので意識しておきたい。また、解答欄があまり広くないため、簡潔に記述する練習も必要だろう。

化学

解答形式 ▶ 記述 / マーク

問題の全体難易度 ★★☆☆ 標準

前年との難易度比較 変化なし

時間に対する分量 多い

大問	分野	内容	出題形式	難易度
1	小問集合 16問	原子、三態図、酸化数、反応性、酸・塩基、化学平衡、ハロゲン、電気分解、分子の運動、加水分解定数、浸透圧、有機化合物の性質、アルカンの沸点・融点、炭化水素の性質、糖類、合成高分子	選択	★★☆☆
2	有機	アミノ酸・ペプチドの反応性、ジスルフィド結合、平均分子量、等電点	選択	★★☆☆
3	理論	電気分解による水酸化ナトリウムの製造、化学反応式、発生する気体の体積	記述	★★☆☆
4	有機	有機化合物(ナフサ関連物質)の反応性と構造決定、付加反応、呈色反応	記述	★★☆☆

大問4題(マーク形式2題・記述形式2題)。マークは正・誤文の選択問題が多く、解答精度が要求された。記述は電気化学と有機で、化学反応式は22年度のヨードホルム反応や21年度の錯イオン生成より易しくなった。例年、

グラフ問題、有機の構造決定が頻出。構造式は記載例に注意しよう。本番では計算量が多い問題よりも解くべき問題に集中する。マークと記述の両形式が続いているので、過去問を繰り返し解いて慣れておくとうい。

生物

解答形式 ▶ 記述 / マーク

問題の全体難易度 ★★☆☆ 標準

前年との難易度比較 変化なし

時間に対する分量 適量

大問	分野	内容	出題形式	難易度
1	生命現象と物質 生物	tRNA、遺伝情報の発現	選択	★★☆☆
2	生命現象と物質、 生殖と発生、 生物の進化と系統 生物	テントウムシの斑紋の遺伝、遺伝子頻度、 遺伝子発現の調節、進化	選択	★★☆☆
3	生物と遺伝子、 生命現象と物質 生物、 生物基礎	ウイルス、遺伝子組み換え	空所補充・選択・記述	★★☆☆
4	生命現象と物質 生物	細胞内の構造体、細胞骨格、細胞膜	空所補充・選択・記述	★★☆☆

22年度と同様に大問4題構成のマーク式。大問は近年3題から5題構成が多いが、年度によってバラツキがある。22年度と比較して計算問題がかなり増加したが、本学で頻出の考察問題は減少した。とは言え、計算問題とともに考察問題の練習は必須と言える。特に考察問題では、

選択肢に分かりにくい表現が用いられることが多く、順に正しく読んでいかないと引っかかることがあるので注意しておくこと。また、22年度に出題されていた論述問題については、23年度は出題されなかった。

物理

解答形式 ▶ 記述

問題の全体難易度 ★★☆☆ 標準

前年との難易度比較 変化なし

時間に対する分量 適量

大問	分野	内容	出題形式	難易度
1	力学	台上の物体の運動	記述・描図	★★☆☆
2	熱	シリンダー内の気体の変化、熱効率	記述・描図	★★☆☆
3	電磁気	磁束密度測定用天秤、ホール効果	記述・選択	★★☆☆

大問3題の出題が続いている。例年、力学と電磁気、残りの1題は熱または波動となっている(16年度は例外的に力学・波動・原子のセット)。典型問題が多いが、解答の過程まで要求される記述式や、グラフ描図問題、論述問題も出

題されることがあり、独特の解答形式だ。これらに対応するためには、過去問を用いた演習が重要。また、各大問の難度に差があるため、どの問題から解いていくべきか、見極める必要がある。

小論文

年度 / 内容	字数 / 時間
2023 ◎三浦綾子著『泥流地帯』の抜粋文を読み、設問に答える。内容は「北海道で火災が起こり農業を続けることが難しくなった家族」の話。①下線部について思ったこと②下線部について思ったこと。	①400字 ②400字 60分 ※小論文と適性試験を合わせて60分
2022 ◎日本におけるフードロスの対策としてどのようなことが考えられるか。また、あなたが明日から実践できることを具体的に述べる。	800字 60分 ※小論文と適性試験を合わせて60分
2021 ◎膵臓がんを患っている父親が、どうせ死ぬのならば治療をしたくないと言っている。あなたは賛成か反対か。その理由とともに父親に対する対応で最も重要なことを述べる。	800字 60分
2020 ◎あなたの成人している兄が、骨髄バンクのドナー登録を希望している。仕事を休まなければならず、危険と考えて両親は反対である。あなたの考えを理由とともに論じる。	800字 60分

◎は、メディカルラボの生徒からの情報を基に作成。

面接

形式	所要時間	面接の進行と質問内容
個人面接	10~15分	※当日事前アンケートあり(併願校と合否) <input type="checkbox"/> 医師志望理由 <input type="checkbox"/> 本学志望理由 <input type="checkbox"/> 本学の建学の精神や理念は知っているか、どう思うか <input type="checkbox"/> 本学は、自分で問題点を見つけ解決する能力のある女性医師の育成をめざしているが、どのような授業を展開すべきか <input type="checkbox"/> 女性医師として働く母親についてどのように思うか <input type="checkbox"/> 医師家系で育ったようだが、幼少期に悲しかったことは、どのようにして両親のことを理解しようとしたか <input type="checkbox"/> 認定看護師や診療看護師ではなく、なぜ医師をめざすのか <input type="checkbox"/> 外科医をめざしているようだが、働き方改革についてどう思うか <input type="checkbox"/> 大切にしている言葉 <input type="checkbox"/> 本学は第何志望か <input type="checkbox"/> 本学は学業に専念するためにアルバイトは禁止だが大丈夫か <input type="checkbox"/> 高校で頑張ったこと <input type="checkbox"/> 最近、本を読む人が減ったが、あなたはどのくらいの頻度で本を読むか
面接会場の配置		
面接官=3名 受験生=1名		